

写真展

ムスリムの女たちのインド

大田区在住の写真家、柴原三貴子さんの作品展です。北インドの小さな農村に住むムスリム(イスラム教徒)の家族と暮らしながら撮影した写真は、インドの女性たちの表情を生き生きととらえています。

大地に根ざし家族に寄り添いながら、ひたすら生きる彼女たちの日常のきらめきをゆっくりご覧ください。



犠牲祭(イスラム暦 12 月の祭り)の朝、
豆料理を作る女性たち

協賛：キヤノン株式会社

2013年

7月23日 火 ～ 8月28日 水 9時～21時

エセナおおた 1階展示コーナー

主催：大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

初めて村に着いた日から、私はよく笑って、泣いて、怒って、喜び、誕生や死と向き合い、そのたびに人間らしく生きるすべを学んできた気がする。

著書「ムスリムの女たちのインド」から



孫娘に髪を結ってもらう女性

インドの女性たちは、結婚前は父母、祖父母、兄弟姉妹たちと、結婚後は夫の家族とともに暮らすことが多く、大家族の中でいつも過ごしています。

家族との深く、濃いつながりの中での喜び、悲しみ…写真の中に彼女たちの人生がうかびあがってきます。

主催・問合せ先

〒143-0016 大田区大森北 4-16-4

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

電話 03-3766-4586

FAX 03-5764-0604

E-Mail escena@escenaota.jp



PROFILE

柴原三貴子（しばはら みきこ）さん

1968 年、東京に生まれる。

立教大学を卒業。在学中より写真を学び、89 年に初めてインドを旅行する。94 年にウッタルプラデーシュ州のマクドゥミア村にムスリム一家を訪ねて以来、毎年のように通い、99 年の秋から一年間一家と暮らし、その体験をカメラに収める。

95 年、第 12 回写真新世紀優秀賞（キヤノン株式会社主催）を受ける。2001 年、デリーで国際交流基金によって写真展が開かれ、東京新聞にエッセイと写真が連載される。

2005 年「ムスリムの女たちのインド」（木犀社）を出版、2007 年、結婚を機にムスリムとなり、現在パキスタン人の夫と息子二人と東京に暮らす。2012 年、新しい章と写真を加え、「ムスリムの女たちのインド 増補新刊」（木犀社）を出版。



JR京浜東北線 大森駅より徒歩 8 分
駐車場はありません。